

2013年版

市長コラム集

市広報誌「広報こおりやま」に毎月掲載



市長コラム (2013年5月号に掲載)



郡山市長

品川 万里

就任にあたって

私は去る4月27日、郡山市長(第14代)に就任いたしました。

4年間の市民としての活動を通して、年齢、性別、職業、居住地を問わず、秀

れた人材に数多く出会いました。日に日に郡山が好きになりました。

この方々はもとより、市民お一人お一人の力をフルに発揮していただくならば、非常時

にある郡山もきっと見事に復興し更なる発展を遂げると確信しております。

市長の役目は、市職員と異体同心で市政遂行に努め市民お一人お一人に存分にご活躍いただく条件を整えることにあると固く決意いたしております。

「一利を興すは一害を除くに如かず」と申します。市政全般にわたって、市民の自由闊達な活動を結果として押さえている不合理な制度や政策はないか、点検して、より良き政策、制度にカイゼンしてまいります。

見直しは議会と二人三脚で進めてまいります。

一害情報をどんどん、請願や行政相談(注1)をも活用してお寄せください。

新しい発想でドンドン手直しいたします。

行政の基本ルールである条例もリフォームし、あるいは国の制度を先取りした

条例もつくりたいものです。国や県にも市民の生活感覚を大事にして、もの申していきます。

その市民感覚を常に研ぎ澄ますため、市民の皆様と座談会を持ち、膝をつき合わせて対話を深めてまいります。

対話のスピードアップのために、ITをフル活用できるときのよう装備の近代化も図ります。

市役所をあげて、三現主義(現場、現実、現物)で郡山ナウ!に触れ、市政データを活用して説明責任を果たし、PDCA(注2)

の行政サイクルを回していきます。

道は険しくとも、目指しましょう。

子どもが独りで歩けるまち、一人旅できる子どもが育つまち、高齢者(私もその一人です)が大往生を遂げることが出来るまち、起業家が続々生まれるまち、市役所が頼もしいまち、千客万来のまち、を：

(注1) 総務省の福島行政評価事務所(024-534-1100)も活用できます。

(注2) 業務を円滑に進める手法の一つ。Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)の四段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善することです。

市長コラム (2013年6月号に掲載)

市長コラム
皆さまとの
出合いを
大切に

今月からコラムを執筆することになりました。このコラムが皆様との対話の材料になれば幸いです。

市長就任以来、1か月余、たくさんの会議・会合でごあいさつ申し上げる機会をいただきました。

既にお目にかかっていた方とは無事の再会を喜び、「ハジメマシテ」の方とは新たな出合いをいただいた喜びを感じております。

これからもどんどん「コンニチハ」の機会をいただきたく存じます。どうぞ市役所においでの際は市長室にもお立ち寄りください。

「いたかい？」と。また、おいでの節は秘書課☎924-2003へご連絡をいただければありがたいと思います。

市議会の傍聴席も皆様とお目にかかれる機



市議会はどなたでも傍聴することができます。市議会6月定例会は6月13日(休)から7月1日(休)まで開催予定です。皆さまぜひ傍聴にお越しください。

会ですので、お待ちしております。またフェイスブックも利用しております。ここも皆様との出合いの場。既に1千593人(5月11日現在)と「友達」にさせていただいております。できるだけ「コメント」(3日遅れのご返事になることお許しください)もお返しします。

皆さまとの出合いこそ、市民感覚、感性をさびさせず、磨きかける貴重な機会、説明責任を果たす機会、目安箱ならぬ耳安箱の機会と大事にしてまいります。

※市議会定例会には休会日があります。開催日や傍聴方法などに関する問い合わせは、議会事務局☎924-2521へ。

9 広報こおりやま/2013.6

市長コラム (2013年7月号に掲載)

市長
コラム

郡山市議会6月定例会にあたって

6月13日、市長に就任して初めての市議会での所信表明の機会を頂きました。正式には平成25年郡山市議会6月定例会提案理由説明に先立つ所信表明です。

所信表明全文および補正予算案をウェブサイト公表しておりますので、お読み頂ければうれしく存じます。

市長は自治体を「統轄」「代表」し、その「事務を管理、執行」(地方自治法第147条および148条)する責任と権限を有しますので、これを行す

るに当たっての執務姿勢を所信として表明いたしました。市民感覚を常に失わず、問題解決力向上を目指す市役所を作り、市民の共有財産である市の資産を有効に活用して、市民の皆様へ「最少の経費で最大の効果を挙げる」(地方自治法第2条)市政をイメージして申し上げました。政策の内容は、政策の核を子どもにおく「子本主義」(私の造語です)に基づいて組み立てる事も申し上げました。

当日は傍聴席に定員をはるかに超える130人余の市民の皆様がおいでくださいました。

36分におよぶ所信と提案理由説明

になりましたが、皆様によく届いたでしょうか。

初心を申し上げる所信表明。初心忘るべからず仕事をしてまいります。

9月にはまた市議会定例会が開かれます。

多数の皆様傍聴をお待ちしております。



▲6月定例会所信表明時、超満員の傍聴席

※開催日や傍聴方法などに関する問い合わせは、議会事務局☎924-2521へ。

7 広報こおりやま/2013.7

市長コラム (2013年8月号に掲載)

市長 コラム



サマーバケーション



暑中お見舞い申し上げます。

長いようで短い夏休み、お子さまたち、いかがお過ごしですか。宿題は大丈夫ですか？長いようで短いのが原稿の締め切りと夏休み。原稿の代筆は頼めても、宿題を代わって仕上げ上げる訳にはいかないのが辛いところですが、保護者としてはじっとこらえて、こらえて。

思えば私の場合、7月ゆっくり、8月かけ足でしたね。8月に入ると、

あっと言う間に「明日から学校」でしたね。今はどんな宿題が出るんでしょうか。科目も増え、教科書は厚くなり、難易度も年々高くなって大変でしょう。中学生ですと部活の練習や試合、塾、模擬テストも加わりますか。でも、本人は周りが思うほど、大変とは思っていないんですね。長い人生の旅支度と心を鬼にして見守りましょう。

保護者の皆様は、夏季休暇を取りましょう。日本は年間労働時間世界最長。育児休暇も未消化の年休も取りましょう。家族旅行ができる時はそう長くはありません。

照れずに「オイ、一緒に来ないか？」と声をかけましょう。では、楽しい夏をお過ごしください。



▲プールでハイタッチ！

市長コラム (2013年9月号に掲載)

市長 コラム



ご当地ナンバー

郡山300
が・910

去る8月2日、車のナンバー「郡山」が認められました。実際に取り付けできるのは先の事ですが、長年の先人のご努力、願いを叶らせることができ、ホッとしております。

郡山ナンバーにすると、どんなイイことがあるのか？ではなく、どんなイイことを興すか、もたらすかと、積極的活用策を考えてまいりましょう。

私にもいろいろアイデアがありますが、まだマル秘。皆さんのご提案を

お待ちしております m(_ _)m

また、市イメージキャラクター「がくとくん」がご当地キャラ総選挙で全国第5位になりました。ご声援、ご支援ありがとうございました。これで市内外において広く知名度が上がり、全国スターとしてデビューできました。

お次は郡山ブランド。例えば郡山野菜、郡山菓子、等々です。これらでシティープロモーションの陣容が勢ぞろいになります。

「郡山ナンバー」「がくとくん」「郡山ブランド」で、シティープロモーショントリオ結成！です。

「郡山ってどんなところ？」「行って

みたいね郡山！」「会社立ち上げるか、郡山で」となるように、トリオに活躍してもらいましょう！

3つ目となる「郡山ブランド」の確立へ、市民の皆様、企業の皆様、ともに作戦を練りましょう！（関連2ページ）



▲郡山ナンバーは平成26年度中に導入予定。力を合わせて郡山を盛り上げましょう！

市長コラム (2013年10月号に掲載)

市長 コラム

初めて東京から郡山にきた方からよく聞きます。

東京から(新幹線で)77分、首都圏在住者の平均通勤時間は60分との事ですから、当然の感想ですね(かく言う私も東京通勤片道2時間でしたから)。同じ長さでもタテにすると長く見えるようですから、東京の北にある郡山は東海道沿線都市よりも遠

「郡山って意外に近いね」という(郡山に住む者にとっては)意外な感想を、



時間距離

いと思っているでしょう。ましてや我々は「奥の細道」なんて自ら言いますから、余計に遠く思えるでしょう。

郡山は広い！と言いますが時間距離(JR)で言えば郡山から磐梯熱海16分、舞木5分、谷田川14分、日和田5分、安積永盛4分。西部第二工業団地の魅力の一つは、「喜久田駅-郡山駅8分！」と進出予定企業の方から伺いました。東京ラッシュアワー通勤者から見れば、郡山は通勤天国です。

物事を数字と単位を示して説明

すると、「ああそうだったのか！」と思うことが多いですね。原発事故に伴う風評被害。私は「数字無き被害」「データ無き被害」と言っています。

高い低い、高い安い、遠い近いもできるだけ数字、単位を見て考えたいものです。市政も定量データを示して市政評価していただけるように心掛けます。



21 広報ごおりやま/2013.10

市長コラム (2013年11月号に掲載)

市長 コラム

OECDの今年度PIAAC(ピアック：国際成人力調査)の結果によれば、日本の大人の知力は、読解、数的思考は1位、IT活用力は10位(ともに24か国中)でありました。パソコン活用度が低いそうです。

私なりの解釈では、文字変換の手間が、パソコン利用の効率上、不利だからではないかと思っています。この文章でも漢字、平仮名、カタカナ、アルファベット、算用数字、漢数字と6種



3R(10月は3R推進月間デシタ)

類も文字を使うのですから。私は、平仮名変換派ですが、皆様は？

小学生の教科書にも載っている3Rも、いちいちReduce(リデュース：廃棄物発生抑制)、Reuse(リユース：再使用)、Recycle(リサイクル：再生利用)とカタカナと漢字で説明しないとイケません。

6種類文字変換ソフトを必要とする国なんて、日本だけでは？逆に日本語国民の強み、器用さの現れとして、ニンマリしましょう。蛇足ながら、一つの漢字を使って複数の読み方をする(例えば、物は「モノ」「ブ

ツ)」なんて、言葉まで3Rしていると言えましょう。

食べ物も、ごはんは「おにぎり」に、豆腐は「凍み豆腐」に、餅は「凍み餅」にとデンプン変換し、ぬかは「ぬか漬け」用になっています。その昔、和紙は布に再利用されました。

3R名人、日本。ついでに、もう一つの3Rも名人になりましょう。

RRR
リデュース リユース リサイクル

広報ごおりやま/2013.11 10

市長コラム（2013年12月号に掲載）

市長 コラム

私、郡山市長は、郡山市交通安全対策協議会会長の立場にあります。郡山市役所は交通安全コンプライアンス(法令遵守)においても、市民の皆様のお手本でなければなりません。

にもかかわらず、去る11月9日未明、管理職にある職員が飲酒運転による交通事故を起こしました。新聞各紙既報の通り、9日当日に記者会見し、次の通りお詫びと再発防止

お詫びと誓い

についての決意を申し上げます。
「この度の職員による交通事故につきましては、誠に遺憾なことであります。復旧・復興のさなかの不祥事であり、改めて深くお詫び申し上げます。

注意喚起した直後のことでありますが、さらに安全指導を徹底いたし、信頼回復に努めて参ります。

当該職員については、司法当局の取り調べ結果に基づき、内規に従い、厳正に措置して参ります。」
飲んだら(車に)乗るな、(車に)

乗るなら飲むな、とは有名な交通安全標語ですが、常に唱えて遵守に努めなければなりません。

飲酒運転については、道路交通法(第65条、第115条～第124条)に厳しい規定が定められております。

市職員にもコンプライアンスを徹底いたします。

市民の皆様におかれても、どうぞ不幸な事態を招かぬよう、お互いに注意喚起とコンプライアンスをお願い申し上げます。